

氏名	伏見もも	部署	健康開発学科	職名	助教
研究分野	臨床生理学、睡眠検査学				
学位	修士(健康福祉科学)				
学歴	2020年埼玉県立大学, 保健医療福祉学部, 検査技術科学専攻 卒業、2022年埼玉県立大学, 大学院保健医療福祉学研究科, 博士前期課程 修了 2024年現在埼玉県立大学, 大学院保健医療福祉学研究科, 博士後期課程 在籍中				
経歴	2020年すなおクリニック臨床検査技師、2021年大宮内科クリニック臨床検査技師、2020年埼玉県立大学ティーチングアシスタント、2021年日本大学医学部精神医学系精神医学分野研究補助、2022年国立精神・神経医療研究センター睡眠・覚醒障害研究部研究員/臨床検査技師、2023年埼玉県立大学保健医療福祉学部検査技術科学専攻助教				
所属学会（役職）	日本睡眠学会、日本睡眠検査学会、日本臨床神経生理学会、日本臨床衛生検査技師会、日本女性心身医学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	9-1 食事と睡眠. より良い眠りのための睡眠マネジメント	共著	あり	朝倉書店		(著)伏見もも, 有竹清夏 (編)大川匡子, 高橋清久	2025.11
2	9-2 運動と睡眠. より良い眠りのための睡眠マネジメント	共著	あり	朝倉書店		(著)有竹清夏, 伏見もも (編)大川匡子, 高橋清久	2025.11
3	9-3 入浴と睡眠. より良い眠りのための睡眠マネジメント	共著	あり	朝倉書店		(著)有竹清夏, 伏見もも, 五月女杏 (編)大川匡子, 高橋清久	2025.11
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Relationship Between Insoluble Dietary Fiber Intake and Non-Restorative Sleep in Japanese Adults: A Cross-Sectional Analysis of the NHNS Japan, 2014 and 2018	共著	あり	○	Nutrients 17(23):3749-3749	Momo Fushimi, Aoi Kawamura, Tomohiro Utsumi, Kentaro Nagao, Kentaro Matsui, Ayano Kimura, Sayaka Aritake-Okada, Takuya Yoshiike, Kenichi Kuriyama	2025.11
2	Nonrestorative sleep mediates the influence of Adverse Childhood Experiences on psychological distress, physical health, mental health, and activity limitation: A longitudinal study for the general population in Japan	共著	あり	○	Sleep Medicine 133: 106658	Megumi Hazumi, Kentaro Matsui, Takahiro Tabuchi, Ryo Okubo, Takuya Yoshiike, Shingo Kitamura, Aoi Kawamura, Kentaro Nagao, Tomohiro Utsumi, Muneto Izuhara, Jun Kizuki, Momo Fushimi, Daisuke Nishi, Kenichi Kuriyama	2025.9
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者(発表者は○印)		発表等年月
1	夜間部分断眠後における日中の主観的・客観的入眠の乖離(ポスター)	共同	埼玉県立大学 保健医療福祉科学学会 第16回学術集会、埼玉		○室田葉音, 塚原ひなた, 渡辺梨夢, 原嶋厚汰, 新井悠未, 小形海早季, 山路茉実, 伏見もも, 有竹清夏		2025.11
2	若年成人における睡眠および生活習慣と生理学的動脈硬化指標の検討(ポスター)	共同	埼玉県立大学 保健医療福祉科学学会 第16回学術集会、埼玉		○塚原ひなた, 室田葉音, 渡辺梨夢, 原嶋厚汰, 新井悠未, 小形海早季, 山路茉実, 伏見もも, 有竹清夏		2025.11

3	手足温浴による徐波睡眠量と精神的・身体的評価の性差相関	共同	日本睡眠学会第49回定期学術集会, 広島	五月女杏, 萩田万喜, 齊藤鈴奈, 藤木優花, ○伏見もも, 有竹清夏	2025.6
4	成熟期女性と更年期女性における生理学的動脈硬化指標と睡眠習慣・生活習慣	共同	日本睡眠学会第49回定期学術集会, 広島	○山路茉実, 忍田ほのか, 伏見もも, 有竹清夏	2025.6
5	日本人における不溶性食物繊維摂取量と睡眠休養感の関連に及ぼす習慣飲酒、睡眠時間の影響	共同	日本睡眠学会第49回定期学術集会, 広島	○伏見もも, 河村葵, 内海智博, 吉池卓也, 松井健太郎, 長尾賢太郎, 木村綾乃, 有竹清夏, 栗山健一	2025.6
6	更年期女性及び成熟期女性における夜間睡眠中の時間認知	共同	日本睡眠学会第49回定期学術集会, 広島	○有竹清夏, 五月女杏, 中沢真妙花, 新井悠未, 伏見もも, 山路茉実, 小形海早季	2025.6
7	The effects and associations of physical exercise in luteal phase on heat dissipation, sleep structure, and subjective evaluation	共同	SLEEP2025, Seattle	○Momo Fushimi, Ryusei Iijima, Shiori Noguchi, Sayaka Aritake-Okada	2025.6
8	The relationship between physiological arterial function and sleep-related factors in young adult women and menopausal women	共同	SLEEP2025, Seattle	Mami Yamaji, Honoka Oshida, An Saotome, Momo Fushimi, ○Sayaka Aritake-Okada	2025.6
9	Time estimation during nocturnal sleep among young adult women and menopausal women.	共同	SLEEP2025, Seattle	○Sayaka Aritake-Okada, An Saotome, Mamika Nakazawa, Yuumi Arai, Momo Fushimi	2025.6
10	Effects and gender differences of combined hand and foot bathing on heat dissipation, daytime sleep structure, and subjective evaluation	共同	SLEEP2025, Seattle	An Saotome, Maki Hagita, Rinna Saito, Yuka Fujiki, Momo Fushimi, ○Sayaka Aritake-Okada	2025.6

(4) その他

	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				

2. 競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	該当なし			

3. 教育業績

(1) 講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	検査機器総論		1	心電図・脳波計・呼吸機能検査装置の座学において、装置の構造や測定原理に加えて臨床での活用例を取り入れ、学生が実際の検査場面を具体的にイメージしながら学べるよう工夫した。
2	生理検査学Ⅰ		15	科目担当者として学生が自主的に参加できるよう主担当をサポートするとともに、講義資料の作成に携わった。
3	生理検査学Ⅱ		7	科目担当者として学生が自主的に参加できるよう主担当をサポートするとともに、講義資料の作成に携わった。
4	生理検査学Ⅲ		15	科目担当者として学生が自主的に参加できるよう主担当をサポートするとともに、講義資料の作成に携わった。
5	生理検査学特論		15	科目担当者として学生が自主的に参加できるよう主担当をサポートするとともに、講義資料の作成に携わった。

6	医用工学概論		15	科目担当者として学生が自主的に参加できるよう主担当をサポートした。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	生理検査学演習		8	科目担当者として学生が自主的に参加できるよう主担当をサポートするとともに、心電図検査の実技担当としてペアやグループでの相互実習を取り入れることで、学生同士の学び合いを促進するよう工夫した。
2	臨床検査基礎演習		30	1年次学生が専門科目に触れる前の前段階として、生理検査機器への興味や理解を促すために、実際の検査機器に触れる機会を設け、座学だけでは得られない体感を通じて学習意欲を高めるよう工夫した。
3	医用工学演習		30	科目担当者として学生が自主的に参加できるよう主担当をサポートした。
4	検査総合演習		2	4年生の国家試験対策のために、教育協議会模試解説を行い、特に正答率の低い問題については、関連する基礎知識を紐づけて丁寧に解説し、単なる暗記ではなく、背景から理解できるよう指導した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	IPW実習		学外実習：4日間	学生主体のリフレクションやグループディスカッションが行われるよう担当学生グループをサポートした。
2	臨床検査技能実習		学内実習：30コマ	臨地実習を見据えた実技試験形式の実習を導入し、臨床場面を意識した判断力や検査技術の確認を実施した。初年度実習のWGとして、実習内容の設計や進行管理、評価基準の整備などに関与し、円滑な実施体制の構築に努めた。
3	生理検査学実習Ⅰ・Ⅱ		学内実習：30コマ	心電図検査等の主要な生理検査機器を用いて基本的な操作技術と測定原理の理解を深めることを目的とした。ペアやグループでの相互実習を取り入れることで、学生同士の学び合いを促進するよう工夫した。
4	生理検査学実習Ⅲ		学内実習：30コマ	超音波検査や熱画像検査など応用的な内容に対して、ファントムを用いた事前学習を行い、限られた実習時間内での理解を深める工夫を行った。
5	臨地実習		学外実習：50日間	科目担当者として担当学生が病院実習に円滑に参加できるよう支援した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	該当なし		主指導 名	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会第16回学術集会	実行委員会		2025年度

(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	産業支援	花王株式会社	入浴と睡眠に関する共同研究(研究分担者) 2025/9-現在
2	産業支援	花王株式会社	乳幼児の発達と睡眠に関する共同研究(研究分担者) 2023/10-現在
3	国の政策	厚労科研	睡眠時間・睡眠休養感の確保に影響する就寝環境・生活習慣の客観的 評価手法および適切な睡眠取得のための介入・環境整備法の開発 (24FA0101) (研究協力者) 2023/10-現在
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	大学広報活動	オープンキャンパス	2025/8
2	学科等における委員会等	臨床検査技能実習ワーキンググループ	2025年度
3	学科等における委員会等	入試実施部会(専攻内担当)	2025年度
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		